

# 和歌山県立みはま支援学校学校 学校運営協議会

令和元年度 第2回【7月9日(火)】 13:30~15:00

出席者：委員6名、進路指導部長、教頭

## 議題

- ①本校の進路指導について
- ②授業参観
- ③意見交換
- ④次回の予定

## 議論した主な内容

### 1、本校〔高等部〕進路指導について

#### ・基本方針について

「進路学習及び教育活動全体を通して、自己認識や将来の進路に対する認識を深め、生徒が適切な進路選択ができるよう、指導・支援する。」

#### ・指導にあたって大切にしていること

- ①本人・保護者の進路指導
- ②社会生活を送る上で必要な力の育成
- ③職場体験学習・実習
- ④関係機関との連携
- ⑤事業所や学校、関係機関に対する理解啓発
- ⑥アフターケア

#### ・中学部の進路指導

- ①ものづくりプロジェクト（「模擬カンパニー」）
- ②職場体験学習（中2、2日間）

#### ・高等部の進路指導

- 1年次の取組 職場見学（就労についての理解を深める）
- 2年次の取組 職場体験学習（就労を自らのキャリアと結びつける）
- 3年次の取組 現場実習（採用を意識させる）

#### ・進路の傾向

「自立訓練・就労移行」の利用が増えた。（個々に応じた指導）

### 2、授業参観

- ・二学部 「自立活動・ものづくり」
- ・一学部 「音楽」

### 3、意見交換【協議】

- ・みなさん楽しそうに取り組んでいる。
- ・卒業後に生かせるものとなれば良い。

「その子にあった強み」をアピールできれば。（「うり」となるもの）  
進路指導における「企画力」がためされている。

- ・ 静かな環境でじっくり、ゆっくり取り組んでいることが大切。  
本物の道具を使える機会があることが大切。
  - ・ 子供たちは教師を写す。  
言動に加え、会話の時の表情も落ち着いていて良い雰囲気となっていた。  
子供たち目線の安心できる授業となっている。  
道具を使用するときの課題を的確に理解して作業することが出来ている。
  - ・ 本校の「自立活動・ものづくり」について  
作業学習ではあるが、本校の場合は少し雰囲気が違う。  
『自己肯定感』を育てることを目標に取り組んでいる。  
『互いに他人を尊重し始める』ことも、付けたい力の一つ。  
『考えて作る』ことの面白さを知ってもらいたい。
- ※貴重な意見を多数いただきありがとうございました。  
今後の取り組みに活かしていきたい。

### 今後の予定について

#### ・ 第3回の予定

11月 2日（土） 13：30～15：00

当日は「文化祭」となっています。

様々な取組の成果を見ていただきたい。



「第2回県立みはま支援学校学校運営協議会」の様子